

小中学校の給食 半額補助を継続へ

小中学校の給食費に半額補助される見通しです。1月17日の新年度予算の会派別説明会で、加藤錠司郎市長が日本共産党議員団に明らかにしました。3月定例議会でも可決される見通しです。

現在の小中学校の給食費の保護者負担は下記の通りです。これまでは国からの臨時交付金で半額補助してきましたが、来年度1年間は一一般会計で行われます。

憲法は「義務教育は、これを無償とする」と決めています(第26条)。1年間に限定することなく、憲法の原則通り、給食費を無償にするべきです。

愛知県内では豊根村、飛鳥

保育園等は 1,250円補助

保育園や幼稚園などでの給食費補助を月額1,250円に引き上げます。これまでは主食代として月額650円を

		単価 (1食あたり)
小学校	自校調理	295円
	共同調理	280円
中学校	自校調理	340円
	共同調理	325円

村、安城市が無償化に踏み出し、東京都では区部はすべて無償になっています。

本来なら国の責任で小中学校の給食費等は無償にするべきです。市としても国の責任で無償にすることを要求するべきです。

補助していました。



今年度は主食代650円と、大幅な後退です。副食代の半額として2,500円、合わせて月額3,150円を補助していました。現在の補助水準と比較すると、子育てを応援するためにも、保育園等の給食費も無償にするべきです。

国府宮駅周辺まちづくり 開発に固執は変わらず

名鉄国府宮駅周辺の交通混雑解消と賑わいの創出に向け、国府宮駅前のロータリー周辺を整備する計画を策定するとしています。

名鉄本線の高架化は「当面の間『凍結』」する自体に追い込まれています(22年7月)。国府宮駅周辺の整備にあたっては名古屋鉄道(株)(以下名鉄)と連携を図りながら進めるとしています。一方、名鉄は名古屋駅前開発に集中しており、国府宮駅周辺開発に協力してもらえないのか疑問です。



2022年2月当時の国府宮駅周辺の整備計画図

高御堂南・国府で 土地区画整理

高御堂南(4杉)、国府地区(17・6杉)での組合施工の土地区画整理事業にむけた準備組合設立に向けた取組を行う。

異常気象といわれる災害などへの対応が求められる中、土地の大幅な減歩による調整池整備が必要になります。

県水10月から値上げへ 水道料金の値上げ 当面なし

愛知県企業庁は、10月から2段階で値上げすると発表しました。値上げ案は次の通りです。

		現行 料金	2024年10 月1日～	2026年4 月1日～
基本 料金	基礎水量	10,800	同左	同左
	その他水量	15,360	同左	同左
使用料金		26	28	32

単位 基礎水量・その他水量：円/m³/年
使用料金：円/m³

使用料金が24年10月から2円、26年4月から6円値上げされます。当面、稲沢市水道料金の値上げに直結せず、現行料金が維持されます。物価が高騰しており、公共料金の値上げは死活問題です。